

伝えたい情報を集め、情報と言葉を結び付けて文章表現ができる児童の育成

—「見付けた」言葉カード、「使いたい」言葉選び、伝えようシートの活用を通して—

特別研修員 国語 網中 佳穂里 (小学校教諭)

目指す児童像

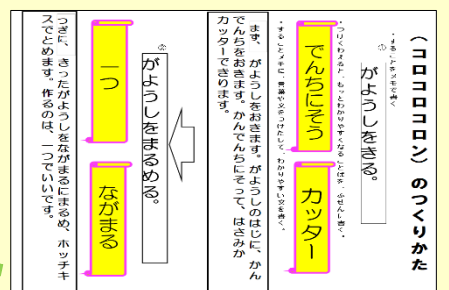
伝えたい情報を集め、情報と言葉を結び付けて文章表現ができる児童

新たな言葉や伝えたいことを見付けながら、思いや考えを文章に表すことができる。

手立て③ 伝えようシート

構成を考え、文章化しやすくするように、書く事柄と文章の構成が視覚化された形式のシートに書かせる。

「伝えたいこと」を分かりやすくする言葉も入れて文章ができたよ。
「まず」「次に」などの順序の言葉に沿って、文章のまとまりごとに付けていけば完成するよ。



手立て② 「使いたい」言葉選び

伝えたい情報に合う言葉が結びつくように、「見付けた」言葉カードを参考にして「使いたい」言葉を付箋に書き出させる。

道具名には「きりで」という言葉を使いたいな。

位置には「真ん中に」を使いたいな。

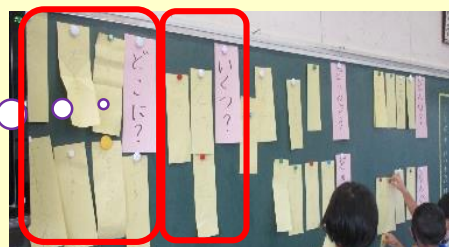
「ペットボトルのふたに穴を開ける」やり方のことで分かりやすくなるように伝えたいことは、【道具】と【位置】かな。

「伝えたいこと」を分かりやすくする言葉が書けたよ。

手立て① 「見付けた」言葉カード

伝えたい情報と言葉を意識化できるように、教材文を参考にして「見付けた」言葉カードを作成させる。

【どこに (位置)】は「上」「下側」だね。
【いくつ (数)】は「4本」「八つ」かな。



「伝えたいこと」に大切な内容は、数、位置、大きさ、形、方法などって気付いたよ。
「伝えたいこと」を伝えるための言葉も見付けたよ。

児童の実態

- ・語彙が少なく、説明したい事柄に合う言葉を見付けることが難しい。
- ・言葉をつなげて、文章で表現することにはまだ慣れていない。

教師の願い

- ・必要な情報を文章に表現して伝えられるようになってほしい。

成果

- 言葉と情報の結び付きがイメージできるようになり、伝えたいことを見付け、文章で表現することができた。

課題

- 文作りの段階で戸惑った児童もいたため、文の組み立てや文章作成のための工夫や学習の積み重ねが必要である。